

抗 GPCR モノクローナル抗体の発売について

株式会社トランスジェニックは、GANP®マウス技術により開発した抗 GPCR モノクローナル抗体を研究用試薬として、2009年7月22日に発売いたします。
このたび発売する抗体製品の詳細は以下の通りです。

製品名	容量	価格(税込)	製品コード
Anti Human GPR65 Monoclonal Antibody (Clone No. 23D5)	50 µg	57,750円	KX442
Anti Human GPR65 Monoclonal Antibody (Clone No. 11F1)	50 µg	57,750円	KX443
Anti Human GPR68 Monoclonal Antibody (Clone No. 15B8)	50 µg	57,750円	KX444
Anti Human GPR68 Monoclonal Antibody (Clone No. 20E4)	50 µg	57,750円	KX445
Anti Human MAS1 Monoclonal Antibody (Clone No. 15A10)	50 µg	57,750円	KX446
Anti Human GPR149 Monoclonal Antibody (Clone No. 1D2)	50 µg	57,750円	KX447

- 販売方法 : 契約代理店（コスモ・バイオ（株）、フナコシ（株）、和光純薬工業（株））を通じて販売
- 開発の経緯 : 当社は、昨年度よりGANP®マウス技術を活用し、Gタンパク質共役型受容体（GPCR）をターゲットとした大規模抗体開発プロジェクトを開始しています。
これらは本プロジェクトの成果です。
- 製品情報 : 製品データシートをご参照ください。
各製品コードをクリックいただくと、製品データシートをご確認いただけます。

Gタンパク質共役型受容体（G Protein Coupled Receptor：GPCR）

細胞膜に存在し、細胞外から送られてきた様々な信号を細胞内の情報伝達系に伝える役割を果たす受容体には種々のタイプがあります。このうち、細胞内に存在するGタンパク質を介してこの役割を果たす受容体をGPCRと呼び、その数は1000種類に及びとされています。現在、これらを創薬ターゲットとして見据えた創薬研究や基礎研究が多くの製薬企業、大学等研究機関で進められています。なお、現在市販されている医薬品のうち、半数以上がGPCRに結合し作用するものです。

GPR65

Tリンパ球のプログラム細胞死で発現が上昇する受容体として同定されました。主に末梢血白血球、脾臓、胸腺、リンパ節といったリンパ系組織及び癌組織などに発現しています。

GPR68（別名 OGR1）

卵巣癌細胞株から同定された受容体ですが、卵巣には発現しないことが示されています。このほか、脾臓・精巣・小腸・末梢血・脳・心臓・肺・胎盤・腎臓など多くの臓器にも発現していることや、破骨細胞形成初期に発現していることも示されています。

MAS1（別名 MAS）

腫瘍化活性を持つ生体分子として同定された受容体です。精巣のほか海馬・扁桃体といった前脳に発現しており、血圧の調節や循環器系の恒常性に関与していると考えられています。

GPR149

まだ研究が進んでおらず可能性を秘めた受容体といえます。
当社は、このたび発売する抗体を基礎研究・創薬研究にご活用いただくことによって、その発現や機能が明らかになることを期待しています。

以上